

令和7年11月14日可決

中国駐大阪総領事による不適切な発言を非難し謝罪を求める決議

去る11月8日に中国の薛劍駐大阪総領事が、高市首相の発言に対して「勝手に突っ込んできたその汚い首は一瞬の躊躇もなく斬ってやるしかない」などとX（旧Twitter）へ投稿を行った。当発言は、在外公館の言論としては極めて不適切であり、両国の信頼関係に大きな溝を生む内容である。

大阪市は上海市を友好都市として、昨年12月にも友好都市提携50周年を記念し両市代表団の友好事業を行ったところである。また、多数の中国の方々が大阪市を訪れ、大阪・関西万博においても両国の文化理解を深めたところである。

そのような中で、駐大阪総領事の発言は国民の不安を煽るような印象を与え、これまでの友好関係を極めて棄損する行動であり決して看過できない。

よって本市会は、当発言を非難すると共に、一日も早い公式の謝罪を求める。

以上、決議する。